

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	ポラツズマブベドチン併用療法導入後のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する初回治療の検討
	研究対象者	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) および関連する中高悪性度 B 細胞リンパ腫と診断された患者さんのうち、2022 年 8 月から 2023 年 2 月の間に神奈川県立がんセンターを受診され、初回治療を受けた方
	研究目的	DLBCL に対しては、長らく R-CHOP 療法が標準治療として施行されてきましたが、昨年、Pola-R-CHP 療法が新たに保険承認となりました。本治療が患者さんの予後を改善することが期待されますが、臨床試験 (POLARIX 試験) のデータからは、実際の患者さんでどのような方に使用すべきなのか、臨床試験の適応とならない高齢者や臓器障害などのある患者さんで使用可能なのか、判断根拠が不足している状況です。本研究では、Pola-R-CHP 療法導入以降に当院の DLBCL または類縁疾患である中高悪性度 B 細胞リンパ腫の実臨床における治療選択および予後に関するデータを後方視的に解析することを計画しました。
	研究方法	患者さんのカルテ、およびデータベースから本研究に必要なデータを抽出し、解析を行います。実際の診療においてどのような治療選択がなされているのかを確認し、統計手法も用いて解析を行います。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 3 月 20 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック [X]が入った項目を利用します)	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 [X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 [X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[]看護記録 []その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	血液・腫瘍内科 高橋寛行
	共同研究機関および責任者	該当なし
	その他の機関	該当なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 高橋寛行 Tel : 045-520-2222 (内線 : 2611) 利用停止のお申し出は 2023 年 09 月 30 日までお願いいたします	